

平成30年度

事業計画書

建学の精神

建学の精神

人間性に支えられた高度な工業技術者を広く学術の研鑽を通じて育成する

基本理念

人を育て技術を拓く（ひらく）

教育目標

豊かな人間性の錬成とすぐれた工業技術者の育成

教育方針

- 学生の個性を伸ばすきめ細かな教育の実現
- 産業界を支える自立した実務型技術者の育成
- 国際社会で、職場で尊敬され、頼りにされる技術者の育成
（基本教科の確実な修得・コンピュータに強い技術者の育成・個性化への対応）

使命・目的

工業に関する専門の学術と一般の学芸とを教授研究し、かつ、人格の形成と陶冶を図り、もって文化の向上に寄与する

平成30年度の事業計画

大学部門（重点目標）

I．教育システムの確立

① 新3ポリシーを踏まえたキャリア教育科目の見直し

これまで実施してきたキャリア教育の科目内容を総括し、新3ポリシー（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）を踏まえて、キャリア教育を充実させるための改善策の検討を行います。

② 高大接続を考慮した入試制度への対応

新3ポリシーを踏まえ、昨年度に策定した高大接続を考慮した入学制度の見直し方針に基づき、入試改革のための詳細な検討を行います。

③ 社会人教育カリキュラムの検討

新たな知識・技術の修得や学び直しを望む社会人のための人材育成プログラムについて、これまでの取り組みも考慮しながら、教育カリキュラムの方針や内容に関する検討を行います。

II．学生支援体制の充実

① 学生に対する組織的な指導体制の整備

昨年度に引き続き、要指導対象学生の早期発見と早期対応を行うため、声掛け運動・個人面談を重視し、併せて、各教室単位での組織的な情報共有を強化し、教職員間のさらなる連携強化を行い、学生に対する指導体制の強化を目指します。

② 学生の科学技術活動等課外活動に対する啓発と活性化

学生同士が協働して行う自主的な活動を推進するため、全ての課外活動（科学技術活動、体育系サークル、文化系サークル、委員会活動等）の情報や活動状況等を学生に周知することにより、課外活動に対する啓発、課外活動への加入促進や新たな同好会の立ち上げ等を勧奨するとともに、教職員の支援体制強化も行い、学生の課外活動の一層の活性化と活動学生の増加を目指します。

Ⅲ．研究活動の充実

① 外部資金獲得強化による研究活動の活性化

外部資金獲得推進委員会を基に、全学的に外部資金の獲得を推進し、教育研究の質向上と活性化を図ります。

② 附属研究所等の活動活性化

附属研究所（地盤工学研究所、岩岳川河川研究所、自動車・ロボット研究所、デザイン研究所、計測・分析センター）の本年度の活動目標を明示し、フォローアップすることにより研究所の活動を活性化します。

③ 企業との共同研究等の促進

産学連携に関する各種展示会への参加および近隣の自治体、自動車産業等への本学教育研究データベース及び研究シーズを公開し、連携窓口を明示のうえ共同研究を促進します。

Ⅳ．地域貢献力の強化

① C O C 事業の着実な実行（事業最終年度）

補助事業最終年度となる文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学C O C 事業）」を引き続き推進し、さらに補助事業終了後も継続して実施できるよう、地域自治体・企業とコストシェアの検討を行います。

② 大学施設のさらなる地域開放

デジタルものづくりカフェなど大学施設の地域開放を促進し、本学が地域コミュニティの核となる機能の強化を図ります。

Ⅴ．管理運営の改善

大学機関別認証評価の第3期受審に向けた自己点検・評価制度の改善を行い、さらなる内部質保証の確立を図ります。



基盤整備部門

I．中期財政計画の策定

「中期目標」(2019年～2023年)の策定に合せ、収支改善と安定的な財政基盤の確立に向けた、中期財政計画を策定します。

II．情報セキュリティ体制の運用

情報資産の保護及び安定稼働のため、情報セキュリティポリシーを策定し、さらなる情報システムのクラウド化を行い、情報セキュリティ強化の推進を図ります。

III．教育研究環境の整備

- 1) 事務グループウェア(ガルーン)更新
- 2) 図書館システム更新(クラウド化)
- 3) おばせキャンパスD棟空調設備更新工事
- 4) おばせキャンパス第2体育館照明設備更新(LED化)
- 5) 小倉キャンパス502教室Mac更新
- 6) 小倉キャンパス303講義室プロジェクター更新
- 7) 小倉キャンパス本館共用部分照明設備更新(LED化)

以上